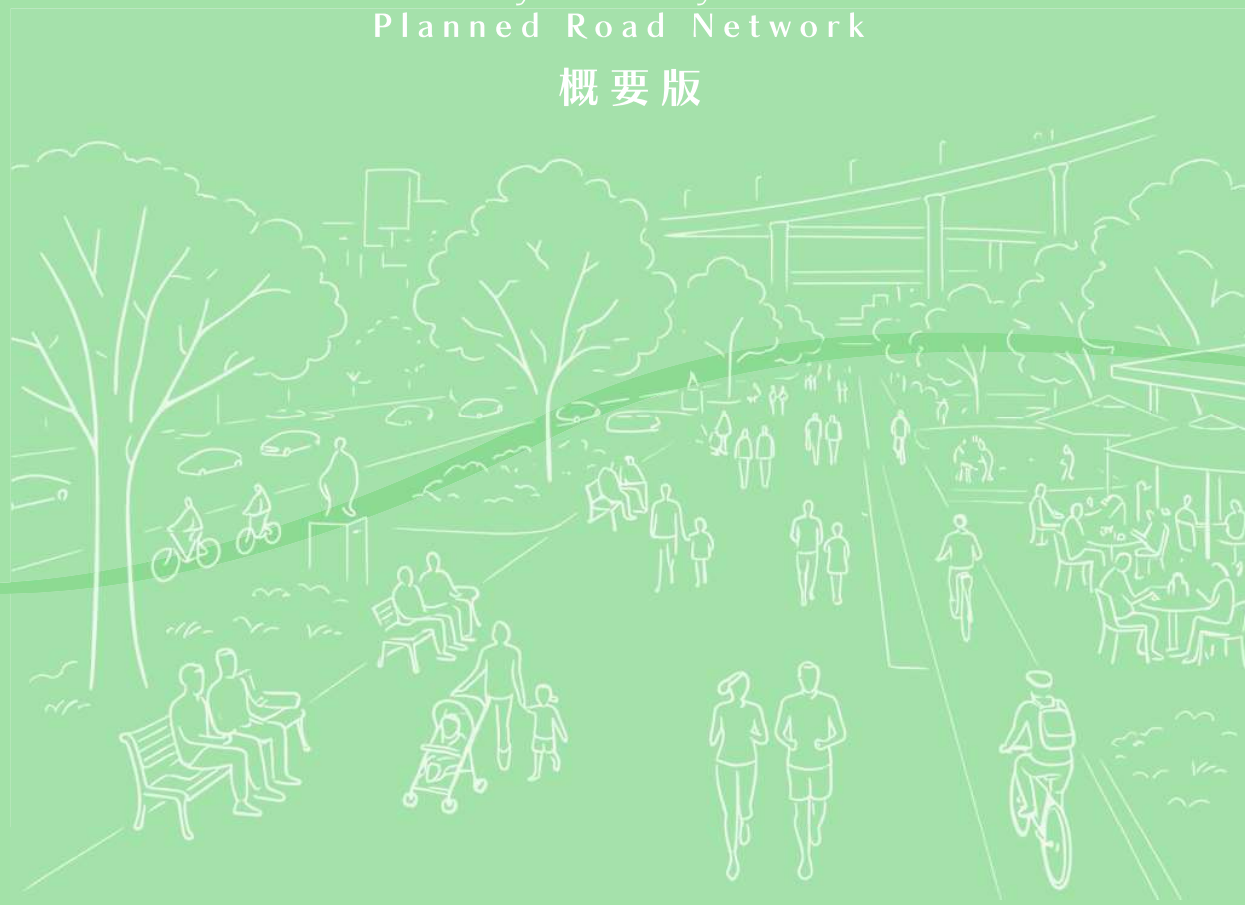




東京における 都市計画道路 の整備方針

Tokyo Policy for
Planned Road Network

概要版



東京における 都市計画道路 の整備方針

概要版

Tokyo Policy for Planned Road Network

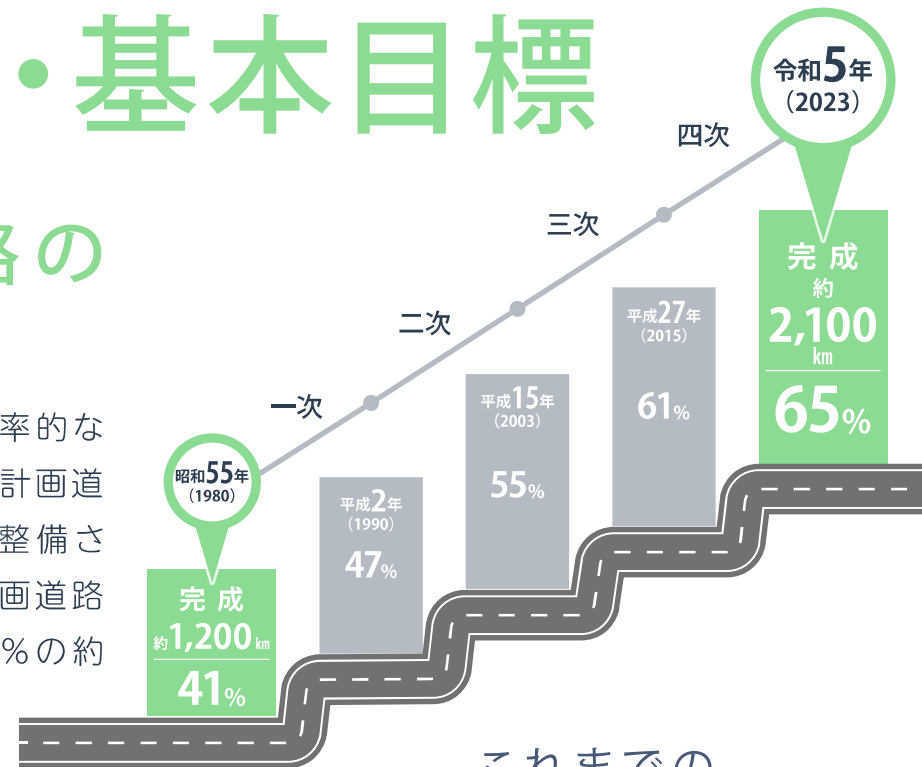


令和8(2026)年3月
東京都・特別区・26市2町

道路整備の 基本理念・基本目標

都市計画道路の 整備状況

都市計画道路の計画的かつ効率的な整備の推進により、東京の都市計画道路は約半世紀で約900kmが整備され、令和5年度末時点で都市計画道路延長約3,200kmのうち約65%の約2,100kmが完成しています。



これまでの 都市計画道路整備 事例紹介



社会情勢 の変化

今後の道路整備を検討する上では、激化する国際競争、気候危機の深刻化、人口減少と少子高齢化、道路に求められるニーズの多様化など東京を取り巻く社会情勢の変化を考慮する必要があります。

令和元年東日本台風の被害



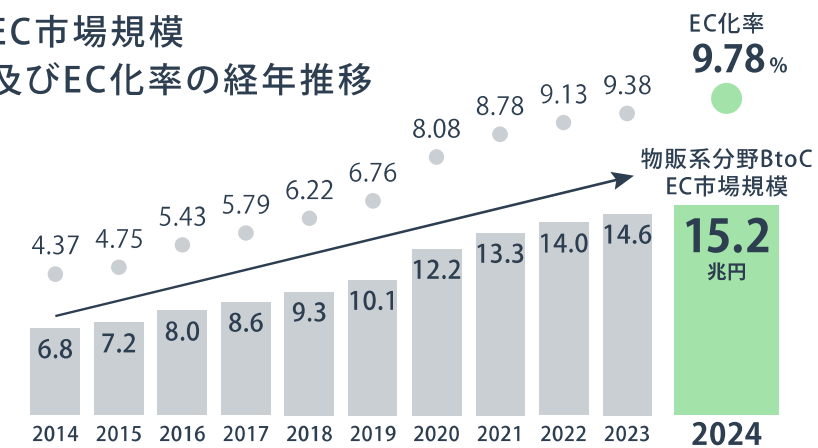
令和6年能登半島地震の被害



道路空間を活用したにぎわいや憩いの場の創出事例



EC市場規模 及びEC化率の経年推移



出典:経済産業省、令和6年度電子商取引に関する市場調査報告書を基に作成

激化する
国際競争

気候危機の
深刻化

首都直下
地震等の
脅威

人口減少と
少子高齢化

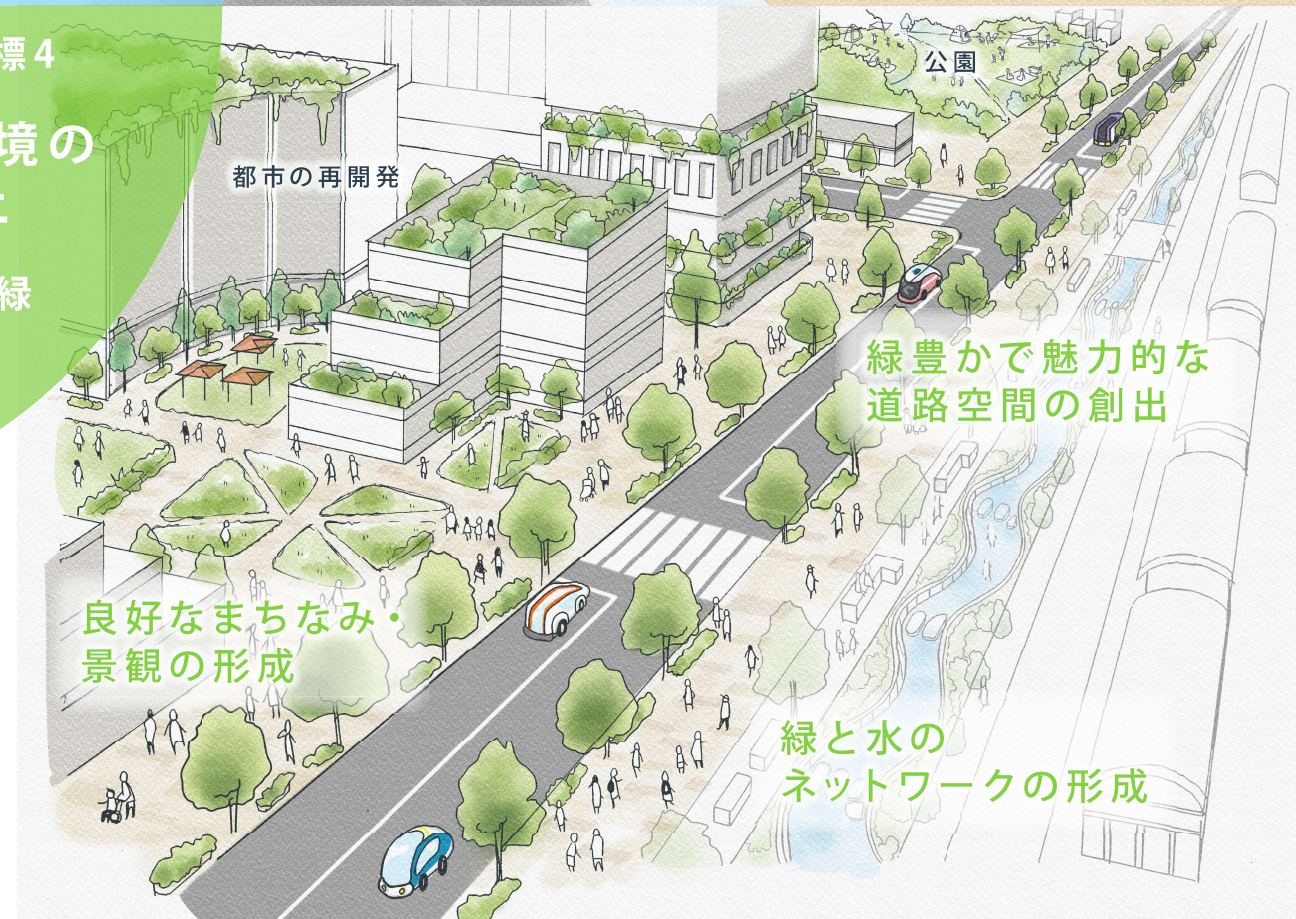
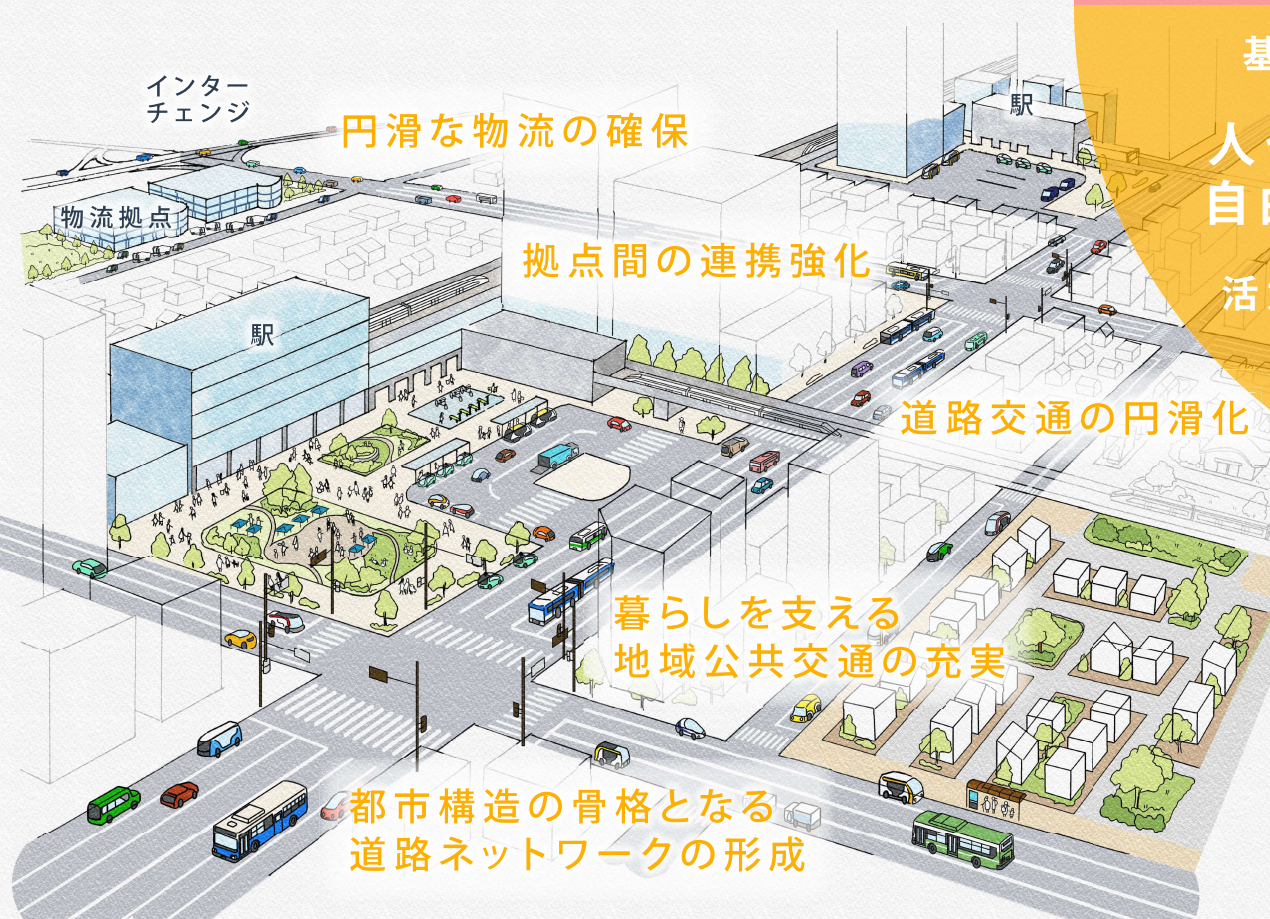
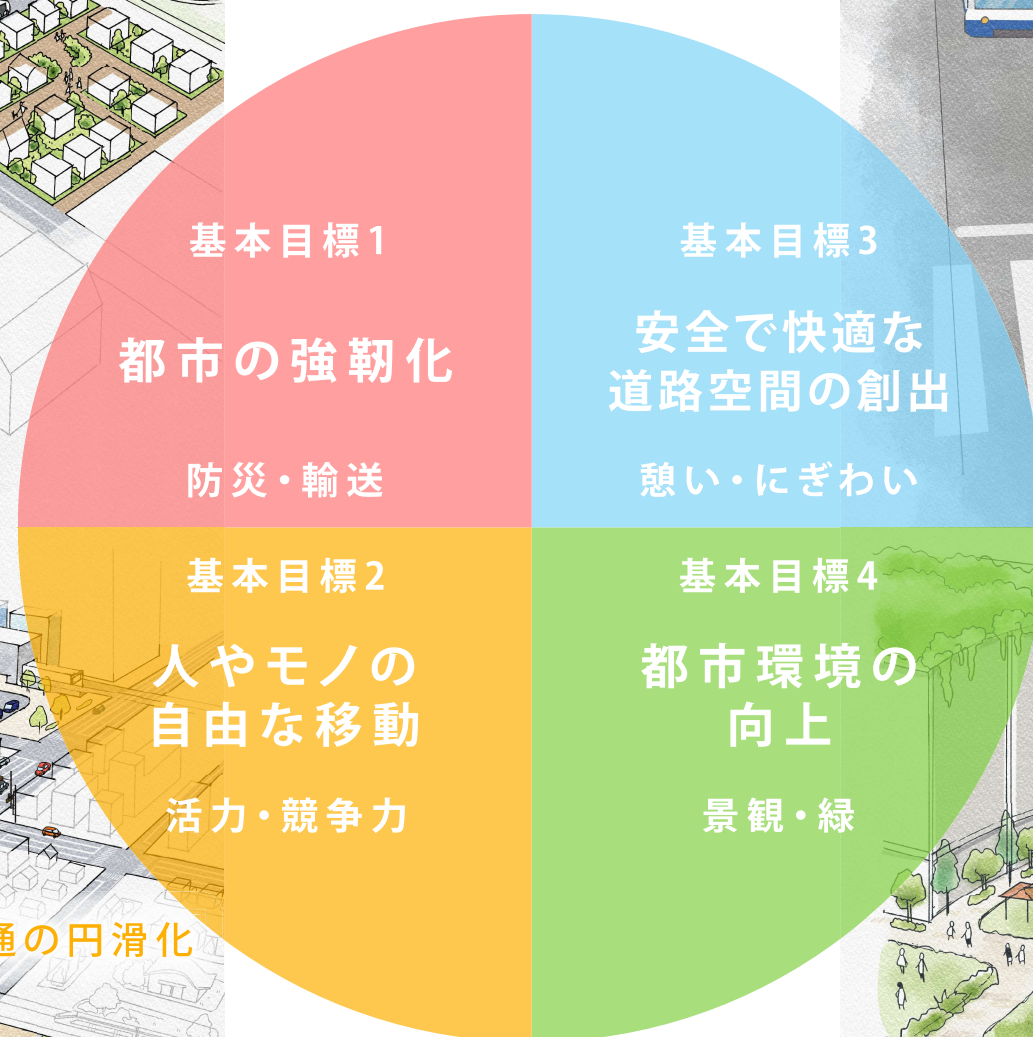
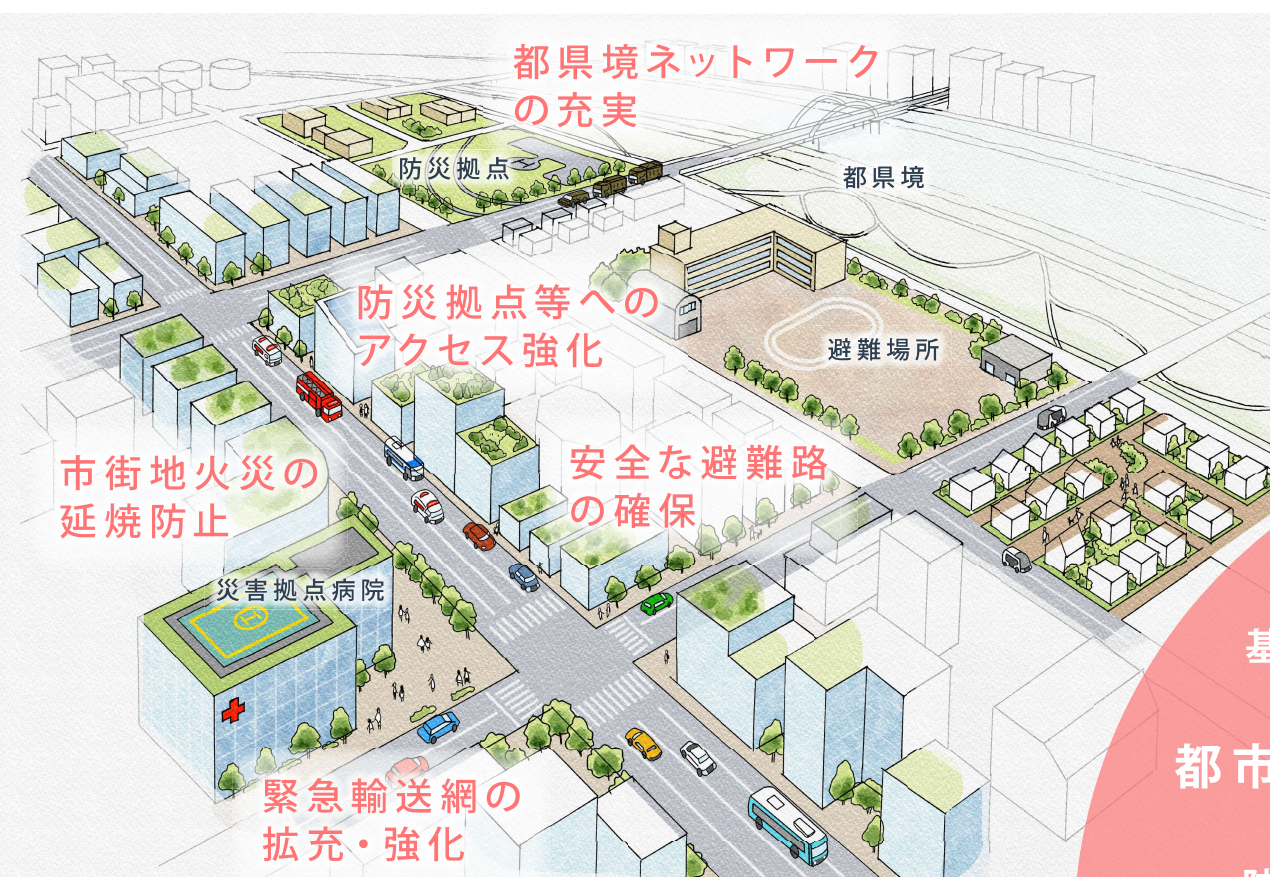
物流需要の
増加

道路に求め
られるニーズ
の多様化

技術革新の
進展

基本理念 都市計画道路ネットワークを円滑な自動車交通と良質な歩

形成・充実し、次世代を見据えた行者空間が共存した都市を実現

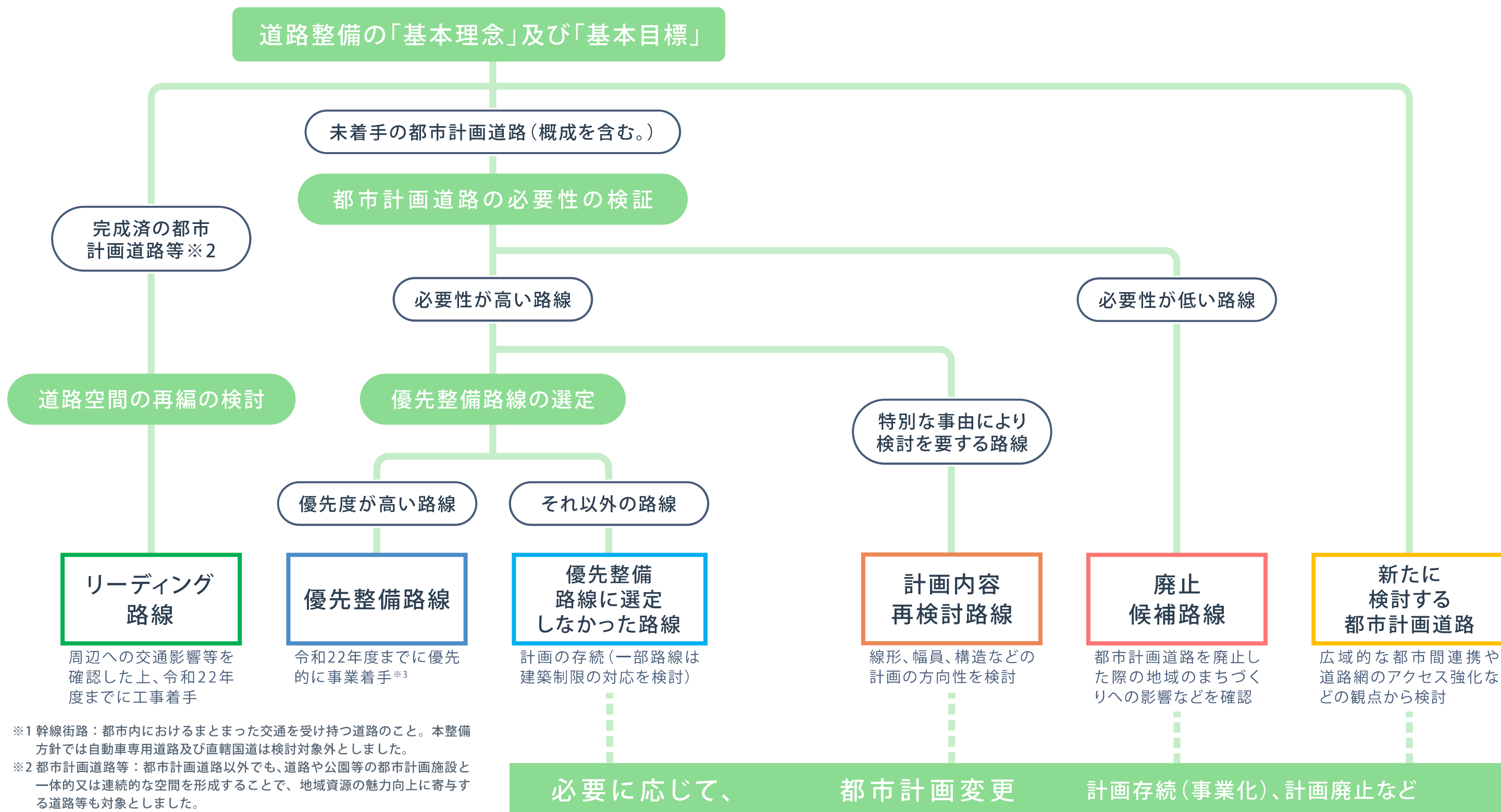


整備方針に定める基本

未着手の都市計画道路(幹線街路※¹)を対象に、「優先整備路線」、「廃止候補路線」、「計画内容再検討路線」を位置付けるとともに、新たに整備が求められる箇所を示します。また、完成済の都市計画道路等※²を対象に、道路空間の再編を都内に展開するための先導的なモデルケースとして「リーディング路線」を選定します。

的事項及び策定手順

計画期間は、令和8年度から令和22年度までの15年間と定めます。なお、社会情勢の変化等に対応するため、計画期間内の中間年次において必要な検証を行っていきます。



都市計画道路の 必要性の検証

未着手の都市計画道路の必要性を検証するに当たり、道路ネットワークとしての機能に着目し、四つの基本目標を基に10の検証項目を設定しました。このうち、検証項目1から5までは 都全域(広域)に関わる項目として都内共通の評価指標により東京都が検証し、検証項目6から10までは地域に関わる項目として検証項目の考え方に基づき、地域の実情を踏まえてきめ細かな評価を行うため、各区市町が評価指標を設定し、主体的に検証しました。

基本目標

- 都市環境の向上
(景観・緑)
- 安全で快適な
道路空間の創出
(憩い・にぎわい)
- 人やモノの
自由な移動
(活力・競争力)
- 都市の強靱化
(防災・輸送)

検証項目

都全域に関わる項目

- 1 骨格幹線道路網の形成
- 2 交通処理機能の確保
- 3 物流ネットワークの形成
- 4 広域的な災害対応機能の強化
- 5 延焼遮断機能の向上

地域に関わる項目

- 6 持続可能な地域公共交通等の実現
- 7 つながり・まとまる緑豊かな空間の創出
- 8 あらゆる災害に対する地域の防災力向上
- 9 命を守る道路ネットワークの形成
- 10 地域の魅力的な拠点の形成

検証項目に示した番号は検証順位を示すものではありません。

